

## 警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県川崎警察署協議会
日 時	令和5年11月2日（木）午後3時から午後4時45分までの間
場 所	日進町内会会館2階麦の郷
出席者	<p>1 警察署協議会側</p> <p>浅古健一 上野武志 鬼塚保 後藤美智子 下島信一 土門里江 松本和晃 森明弘          山川政子 山本浩之 <span style="float: right;">計10人</span></p> <p>2 警察署側</p> <p>署 長 鈴木達也 会計担当次長 新倉亜希子 生活安全担当次長 岡里広美          地域担当次長 尾崎哲郎 刑事担当次長 鈴木 聡 警備担当次長 大村正大          警務課長 中澤 豊 交通課長 滝川裕章 <span style="float: right;">計8人</span></p>
議事要旨	<p style="text-align: center;">警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明</p> <p>前回の諮問「新たな時代に対応した職場環境づくりについて～アフターコロナ対策～」について</p> <p>1 答申</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 良好な職場環境づくり（休暇取得促進、各種ハラスメント予防、女性会議など各種会議の実施）の対策として、署内で会議を実施し、結果を共有してもらいたい。</li> <li>・ 合理的な業務改善についてオンライン会議、アプリ（業務内容の一斉送信）の積極的な利用、無駄な業務の撤廃（形骸化した会議など）、最新の技術（AI）を利用した警戒の計画により合理的に業務を進めてもらいたい。</li> <li>・ 人材教育関係は、若手の離職者が多く、コミュニケーション能力の低下があることから、上司からの声掛けや、業務以外でのコミュニケーションを図り、個々の能力の向上を図るような施策も検討してもらいたい。</li> </ul> <p>2 措置結果</p> <p>(1) 良好な職場環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議題をハラスメント、勤務環境及び昇任などの項目で所属女性会議を開催し、女性職員からの要望意見を共有し今後の職場環境改善に努める。</li> <li>・ 川崎署の職場環境改善の一環として、休暇取得の促進を図った。</li> <li>・ 職場環境改善の相談窓口を多数設けるとともに、相談担当者の氏名を署内に掲示し、相談しやすい環境を整えた。</li> </ul> <p>(2) 合理的な業務改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オンライン会議を活用し、情報の共有を図った。</li> <li>・ 署員を一斉に集める会議の回数を減らすとともに、会議での配布資料をデータで配信するなどして削減に努めた。</li> </ul> <p>(3) 人材教育関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若手警察官育成の一環として、警察学校を卒業した新任警察官に対し、各課幹部から実践に即した教養を実施した。</li> </ul>

- ・ 人事異動により他所属から異動してきた職員に対して、早期に面接を実施し職員への支援体制を確立した。

措置結果の説明は書面で行った。

#### 諮問

効果的な被害軽減対策による交通死亡事故抑止対策について

#### 答申

- 1 パトカーの赤色灯を点灯し薄暮の時間に警戒し、自転車や歩行者や運転手に対して注意喚起してもらいたい。
- 2 運送会社や小学校、町内会において安全講話や安全教室を実施してもらい、高齢者や子供に合わせた内容を検討してもらいたい。
- 3 反射材や、自転車のヘルメット着用促進を図るためのキャンペーンの実施をしてもらいたい。
- 4 道路標識や道路標示について、要望があれば個別で対応をしてもらいたい。

#### 業務説明

前四半期（7月から9月まで）の業務推進結果及び今四半期（10月から12月まで）の業務推進重点について説明を行った。